

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度 平成12年度		根拠法令・例規等	過疎計画、新市まちづくり計画
総合計画	大項目 基本構想	03	協働「コミュニティ」	問合せ先	担当課(室) 日生総合支所 管理課 職・氏名 係長 大道 健一 電話 0869-72-1104
	中項目 基本計画	04	地域での支え合いを基本とした協働を推進するまち		
	小項目 施策	12	コミュニティの育成と地域活動の支援		
事務事業名		03	コミュニティ施設整備事業	このシート作成に要した時間 2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	日生地域のコミュニティ施設保有地区	
目的 (何のために)	良好な生活環境と心豊かな地域づくりを目指し、コミュニティ活動を推進するために施設の整備と維持管理を行う。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)		地区住民の避難場所として、また地域コミュニティ活動の拠点整備を図る。

事業の実績		事業の説明	優先度
細事業名			
目的を達成するため実施した事業	地区集会所整備事業	コミュニティ活動推進の拠点施設として整備 ・竹ノ内、中日生会館 (15~16) ・川向会館 (17~18) ・梅瀬会館 (18) ・東新田会館 (19) ・大西会館 (20) ・スウ南会館 (21)	▲
	地区集会所維持管理事業	コミュニティ活動推進の拠点施設として整備した施設の維持補修	○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	千円		2,282	2,701	461
	必要人員	人		0.04人	0.03人	0.03人
	事業費	千円		2,600	2,939	699
	国・県支出金	千円				
	受益者負担	千円		1,104	1,401	
繰入金	千円					
その他(債権)	千円					
一般財源	%		1,496	1,538	699	
受益者負担比率	%		42.5%	47.7%		

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
	結果指標量	説明	整備要望があったコミュニティ施設の数	6	3	0
	対前年比	%	-	50.0%	0.0%	
	活動コスト	円	2,600,000	2,939,000	699,000	
単位当たりコスト	円	433,333	979,667	#DIV/0!		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果 (平成25年度事業)					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
	目標値(A)	4	6	3	3
	実績値(B)	4	6	0	到達目標値
達成率(B/A)		100.00%	100.00%	0.00%	3
成果指標設定の考え方・式や説明					
平成12年度から年次的に建て替えと新築による整備を実施しており、平成21年度までの累計を9件としていたため、累計件数/9×100とし、整備状況を示していた。新築等の整備事業は平成21年度をもって終結しているため、平成22年度からは各地区から要望された整備(修繕等)件数と対応出来た件数により指標を設定、算出する。					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ、< ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
		市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	目的達成度 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
		市民参画度	C	

事業の目的やその数値目標を留意しながら

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	状況	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○	○				○
説明	平成21年度をもって新築等の整備事業としては終結しているが、引き続き維持管理等の整備は必要であり、毎年整備要望が出され、必要性和緊急性を勘案し予算要求をおこなう必要がある。経年劣化による老朽化が見受けられる施設もあり、大規模改修や施設の利用状況についても調査を行うと共に、施設の必要性自体を見直す必要もある。						

総合評価		総合評価
過疎計画、新市まちづくり計画に基づき、町内会等との調整を行いながら事業実施に努め、平成21年度で新築等の整備事業は終結した。地域の重要なコミュニティ施設として必要な維持管理事業は引き続き実施する必要がある。		
		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		C

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	方向性	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○	○				
取組目標	各地区から要望されている整備(修繕等)を早急な時期に実施すると共に、各施設の利用状況や老朽化の調査と今後の整備方法、運用方法について検証を行い、管理団体(町内会)に報告する。						

Action